

第4回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)3月19日(土)9:30~12:10
場所	南大沢中学校 3階家庭科室
出席者	参加者:飯田、伊與田、柿島、木村、佐藤、高津、高橋、田中(茂)、田中(麻)、廣田、福澤、宮武 第1層生活支援コーディネーター:今泉 社会福祉協議会:西田 八王子地域 PAL-ETTE:今居、矢部 未来デザイン室:今川、野田、安齋、橋本 (株)アール・ピー・アイ:岩崎、佐藤、伊藤、高尾
配付資料	・南大沢中学校区 地域づくり推進会議資料 ・資料1:南大沢中学校区(南大沢地区)の地域づくりに関するアンケート調査結果(最終版) ・資料2:第3回南大沢中学校区地域づくり推進会議「紙面を完成させよう」 ・資料3:南大沢中学校区 地域カルテ(案) ・資料4:南大沢中学校区地域づくり推進会議 地域カルテ追加情報・修正反映状況一覧 ・参考資料:南大沢中学校区地域づくり推進会議 参加者提供写真一覧

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 本日の実施内容の確認

【(1)本日のゴールの確認】

第4回推進会議の検討内容とゴール、流れを確認。

質問・意見なし

3. カルテの出来上がりをイメージしよう

【(1)カルテの編集・意見収集結果の確認】

資料2~4に基づき、第3回推進会議で検討したカルテの編集方針とカルテの掲載内容を確認。

質問・意見なし

【(2)修正・気になる点の確認、出来上がりイメージの共有】

資料3・4に基づき、カルテの追加・修正する事項等を確認。参加者からのカルテ(案)への主な意見は、以下のとおり。

(参加者からの主な意見)

- ・P5「町会・自治会等」について、町会名に番地の記載があるものと無いものがある。どこにある町会かわかるよう、番地等を記載し、その順に掲載した方がわかりやすい。
 - ・P24・25「おすすめスポット情報」について、写真からどんなイベントや活動が行われているか、どんな魅力があるかが分かる写真を選ぶ。たくさん載せるよりも1枚の写真を大きくして見せるほうが分かりやすい。このページで紹介しきれない写真は、「四季」や「年間行事」などのページに掲載してはどうか。
- p25の小山内裏公園の凍結した大田切池の写真を、p4年間行事の下に移動した方が良い。(推進会議

参加者)

小山内裏公園の桜の写真はタマノホシザクラの写真であるため、p24 のタマノホシザクラのコラムに掲載した方が良い。(推進会議参加者)

小山内裏公園のマルシェや誰でもピアノの写真は紹介文章があるので削除を。(推進会議参加者)

小山内裏公園の滑り台は大きくてぜひ知ってほしい情報なので、滑り台が大きく見えるようにトリミングをしてほしい。(推進会議参加者)

小山内裏公園の動植物の写真がたくさん掲載されているので、ルリビタキの写真に絞って掲載する。これに伴い、コメントも修正する。(推進会議参加者)

小山内裏公園の他の写真を削ることに伴い、どんと焼きの写真が大きくなる。(推進会議参加者)

(P26・27 「地域資源マップのタイトル」について)

- ・推進会議参加者から提案があった「一生住みたいまち」、「遊歩道でつながったまち」、「すべての世代が住みやすいまち」のうち、マップの趣旨からみて「すべての世代が住みやすいまち」が一番合っていると思うが、南大沢に限ったことではないので特徴が伝わりにくいか。何を感じるかは人それぞれであり、マップを見れば南大沢の特徴はわかるので、キャッチコピーがなくても必要なことは伝わるのではないか。「南大沢はこんなまち」というタイトルにし、何を感じるかは見る人に委ねてはどうか。
- ・マップはみなさんの想いが詰まっている。掲載されているのが特定のお店等であることを踏まえ「推進会議の皆さんがおすすめする情報を掲載しました」といった一文を掲載する予定。(未来デザイン室)

4. カルテの配布方法等を考えよう

○カルテの効果的な配布方法等について確認。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

配布先(紙媒体の場合)について

- ・カルテの趣旨を考えれば全戸配布が良い。
- ・全戸配布は理想だが、市の予算の問題もある。地域のメディアを活用して情報発信し、ネット等で閲覧してもらうのが良いのではないか。
- ・転入者も含め、地域住民全体に行き渡る方が良いと思うので、予算が無いならスポンサーを募集してはどうか。その場合、紙面構成にもスポンサーの意見を反映する必要が出るかもしれない。

医療機関が無条件に掲載されている一方、商店などは広告料が必要となると、不公平が出るのではないか。(推進会議参加者)

初版は市で印刷部数や配布方法の判断をさせていただくが、今後、更新頻度やスポンサーを取るかどうかの判断も含め、推進会議参加者の皆様と一緒に検討していきたい。(未来デザイン室)

- ・まずは市に全戸配布していただくことで、今後、推進会議が引き継ぎスポンサーを募集する際にも、スポンサーが集まりやすくなるのではないか。

- ・転入者が一番必要とする可能性が高いと思う。

転入された方に市が配布する「転入セット」に入れることを検討したい。(未来デザイン室)

配布方法について

- ・青少年対策地区委員会のネットワークでクリーンデイの際にお知らせを全戸配布しているので、そのルートを使うのが良いのではないか。
- ・各地域団体を通じて複数のルートで配布すると、重複して配布される人が出る一方で、届かない人も出てくる。
- ・市の広報と同じ手順で全戸配布すれば良いのではないか。

配布場所、閲覧場所について

- ・市役所や事務所で紹介や配布してほしい。
- ・地域資源マップについては、拡大したものを駅前に掲示するのはどうか。

更新頻度について

- ・資料3「南大沢中学校区 地域カルテ(案)」のP20・21の医療関連施設は、由木マルシェのサイトに掲載している。
- ・全戸配布ではなく、閲覧場所に固定で置いておけば、変わった部分だけ変更することが可能なのでは。更新頻度は冊子の作り方にもよる。パンダー式等であればページ別に差し替えが可能である。(推進会議参加者)

5. 地域づくりについて

【(1) 地域づくりとは】

地域づくりについて、事務局から説明。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

(参加者からの主な意見)

- ・東京都と八王子市がより連携してほしい。例えば、東京都に推進会議の情報が共有されていない。スマートシティの取組とも連携することが必要。
スマートシティの詳細情報を市も十分に提供されていないのが現状。東京都に情報提供を要請しており、市としても東京都と連携していきたいと考えている。(未来デザイン室)

【(2) 推進会議が目指す姿】

推進会議が目指す姿を事務局から説明。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

(参加者からの主な意見)

- ・民間事業者や大学生、子どもなどに推進会議に参加してほしい場合、どのように呼びかけをすれば良いのか。
例えば民間事業者であれば、市役所の産業振興部などと連携し、呼びかけることができる。(未来デザイン室)
- ・子どもに関わる課題などが出てきた場合は、当事者である子どもの意見を聞く必要がある。また、外国人等を含めた住民の意見を汲み上げることで、はじめて地域の意見になるのではないか。
推進会議は、原則誰でも参加できる。自由に参加し、発言していただくための仕組み、様々な方のご意見を反映する仕組みを考えていきたい。(未来デザイン室)
- ・南大沢の自治会は団地単位で分かれており、地域全体を取りまとめる組織がない。
地域の中でも縦割りがあるような気がする。住民同士の縦割りがあることも課題。分野別の団体の情報がまとまって住民に入っていない。(推進会議参加者)
地域として何か意見を出す際に、中心となる組織を住民がつくる必要がある。住民協議会は、昔から南大沢に地縁のある方が代表者になっており、新しい方は入りづらい。新たな代表組織をつくるとともに、既存の組織が集まって話し合う場をつくる必要があるのではないか。(推進会議参加者)
多様な団体、新旧の住民団体が共通して取り組めるテーマのひとつが防災である。いざとなった時のために地域を一つにする、ということも市としても目指してほしい。(推進会議参加者)
類似団体間では連携の密度が濃いですが、分野間の連携が弱いなどの問題がある。団体ごとの考え方もあ

るが、推進会議を活用して議論し、今後の在り方について考えて行きたい。(未来デザイン室)

- ・推進会議は、地域コーディネーターのような役割になるのではないか。固定的なものではなく流動的に、かつ、市からも正式な機関として位置付けてもらう必要がある。
- ・南大沢町会の範囲は一丁目、二丁目であり南大沢の一部であるが、南大沢地区全体を代表していると思われるがちで、市から南大沢町会に依頼が来る。そうした市の考え方を変える必要がある。

6. 推進会議の今後の進め方

推進会議の今後の進め方を事務局から説明。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

(参加者からの主な意見)

- ・さまざまな地域団体の代表を呼んで、課題を聞いて行政が解決に取り組むということになるのか。
行政も課題解決に取り組むが、地域で解決できることについては地域で取り組んでいただきたいと考えている。(未来デザイン室)
- ・地域カルテの地域資源マップは、駅前に貼り出す等、たくさんの人の目に触れる場所に掲示してほしい。
市のブランドメッセージの掲載場所など、市が所有している場所であれば、貼り出すことは可能。(未来デザイン室)

7. 意見交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

会議参加者に共有したいことについてご意見いただきたい旨説明。

質問・意見なし

8. 閉会

○地域カルテの完成までの流れと令和4年度(2022年度)の推進会議のスケジュールについて説明。

令和4年度(2022年度)の推進会議は5月に第1回目の開催を予定している。詳細は、後日通知を送付させていただきます。

以上